

4月から国民年金保険料の額が変わります

平成24年度の国民年金保険料は1カ月14,980円(平成23年度は15,020円)です。保険料は納付期限までに納めましょう。

○納付書で保険料を納めている方の場合

日本年金機構から4月上旬に平成24年度(1年分)の納付書が送付されますので、お近くの金融機関などで納めていただきますようお願いいたします。

ただし、平成23年度に免除などが承認されている方は、免除期間終了後に納付書が送付されます。

○口座振替を利用して納めている方の場合

平成24年度分以降も、届け出されている振替方法で継続して振替がされます。(納付書は送付されません)

なお、振替方法の変更を希望される方は届け出が必要となりますので、お早めに手続きしてください。

※振替不能となった場合

振替日に残高不足などにより振替ができなかった場合は、翌月の振替日に当月分とあわせて2カ月分の振替を行います。再振替により振替できなかった場合には納付書を送付しますので、お近くの金融機関などで現金により納めていただくことになります。

なお、前納が振替不能となった場合は、前納としての取扱いはできなくなり、毎月納付の口座振替として、当月分を翌月末に引き落とししていくことになります。ただし、届け出により年度の途中でも再度、残りの月分について納付書で前納することができます。



東日本大震災から一年… 地震への対応はできていますか。

昨年3月11日14時46分、三陸沖から茨城県沖にかけての太平洋沿岸で、マグニチュード9.0の非常に大きな地震が発生し、10メートル以上の津波に街は飲み込まれ、甚大な被害が出ました。あれからちょうど一年が過ぎようとしています。

この地域では東海・東南海・南海地震がいつ発生してもおかしくないといわれています。地震は災害の中で発生を予知することが難しいので、いつ発生しても対応できるようにしておきましょう。

○身の安全を守る

急いで机やテーブルの下に身を隠し、家具の少ない部屋へ移動しましょう。机やテーブルがない場合は座布団や本などで頭を保護してください。屋根瓦やガラスの破片が落ちてくることがあるので、慌てて外に飛び出すことは危険です。

○揺れがおさまっても油断しない

まず、家族の安否を確認しましょう。大きな

地震の後には余震が発生する恐れがあります。倒れかかったタンスや本棚、冷蔵庫などには近づかないでください。余震によって転倒することもあります。ラジオやテレビなどから正しい情報を入手してください。

○屋外にいる場合

窓ガラスや看板などが落ちてくる危険があります。かばんなどで頭部を保護し、近くの空き地、街路樹の下に避難しましょう。ブロック塀、門柱、自動販売機、建設現場からは離れてください。

○避難する時

- ・ 長袖、長ズボンを着用する。
- ・ ヘルメットや防災ずきんなどで頭を保護する。
- ・ 靴は底が厚く、履き慣れたものを履く。
- ・ 軍手を着用する。
- ・ 両手を使えるようにするため、リュックサックを背負う。必要な荷物は事前にリュックサックの中に入れておく。

過去の災害をみると、逃げ遅れた人たちの多くが自力避難困難者とその家族でした。地域が一体となり、自力避難困難者への協力、支援体制を整えていく必要があります。誰もが安心して生活するために、一人ひとりができることは何かを考えましょう。

